# 2025年度 おかさきこども園 事業計画

令和7年度は、開園から44年、新園舎に移転してから12年目、保育園から幼保連携型こども園に移行して8年目になります。

出生数の減少が大きな社会問題とされていますが、待機児童が減少した今、第1希望で選んでもらえる園でないと園児が入ってこない時代がもうそこに来ています。保護者から第1希望で選ばれている園は「園の取り組みを広く地域に伝えられている」園であることが多いです。少子化が進む中、園の良いところを更に保護者に知ってもらう事が大切です。保育施設は、地域にとってなくてはならないものです。子どもの育ちを保障し、子育て家庭を支援するとともに、子どもの居場所を維持、確保する地域には欠かせない社会資源です。そのために地域に根ざした園、選ばれる園であり続けたいと思っています。

さて、湖西市の状況は、子ども子育て計画のもと、2028年度に新設園(100~130人の」 保育園)の増園が示されました。入園待ちの児童の解消と伺っていますが、出生数が減少している中 で子どもの人数と地域のニーズの把握、園の受け入れ人数とあわせて行政の動向を見ていきます。

そして、こども家庭庁のこどもまんなか社会の実現、幼児期までのこどもの育ちに係る基本的なビジョン (はじめの100ヶ月の育ちビジョン) 7つのメッセージを園の取り組みに働きかけていきたいと思います。

こどもの思いを受け止めましょう / こどものあそびを守りましょう / 子ども自身に乗り越える力を育てましょう / こどもの自分でやりたいを大切にしましょう/子ども同士の関わりが大切です / みんなで食べると美味しいんです / 子どもは自然が好きです /

理念を念頭に、おかさきこども園の特色、学童まで子どもの成長をみることができる、保護者の就 労ニーズにあわせた、一時預かりや休日保育事業等を活かして、意義目的を再認識し、職員と協力し て実施していきたいと思います。更に年数が経過した園舎内、外と園庭等の修繕も考慮し、安全のた めの計画をしていこうと考えます。

また、働き続けたい園づくり、保育者がやりがいをもって働き続けられるような風通しのよい職場づくりとして、職員の居場所を再確認していき意見を取り入れながら進めて参ります。

そして、新たに職員採用の困難が予測され、確保より定着を考える、長期的な定着と信頼の確立を し、離職率の低下につながるとよいでしょう。職員と語り合う場を考え、管理職、リーダーの役割を 再認識して、職員が仕事に対して前向きに取り組むよう意識して丁寧に進めていくため、事業計画を 具体的に掲げ、分かりやすく伝えていけるよう努力していきたいと思います。

## 【おかさきこども園 保育教育の理念】

こどもに寄り添い、一人ひとりの可能性を大切にする

### 【本年度のテーマ】

人が育ちあう組織づくり

保育をともに楽しむ、可視化・共有でつながりを大切にした、みんなが笑顔になる場所づくり

#### 【重点目標】

- 1. あそびの中から育つ力を大切にし、子どもの「やってみよう」をみつけて語り合う。
  - 1)保育環境を工夫し、事例を通じて子どもを中心においた関わりを語り合う。 コドモンを利用し、ドキメンテーションについて語り合う、子どもの成長をみんなで共有する 時間を設ける。コドモンを活用し、紙での記録を整理していく。
  - 2)子どもの発達を考え、五感や指先をつかった玩具選びや様々な動きや姿勢のあそびを考える。
  - 3)子どもの気持ちに寄り添い、興味を引き出す保育実践、絵本に触れ育つ環境で想像力心の育ちを大切にする。
  - 4) 配慮の必要な子ども、特別なニーズを持つ子どもに寄り添う子どもの支援を行う。 (専門医師 による訪問相談、療育相談、ケース会議、個人記録と個別計画)

- 5) 幼少保の架け橋プログラムを実行し、学校へとつなげていけれるようにする。
- 6)保育を他者から評価を受けたり、市野との交流を行い保育を高めあっていく。また聖隷保育学会への参加、研究の実践発表につなげていく。

## 2. 成長を支援する環境作り 職員一人ひとりの強みを理解しスキルアップを後押しする。

- 1)職員が意見を自由に言える会議作りをする。「参加しなきゃいけない会議」から「参加したい会議」にする。
- 2) 目標管理、保育士ラダーで振り返り、自己評価から自分の保育観を見つけ、仕事のやりがい自信につなげる。
- 3) 園内研修の活性化、グループワークなどを通して職員同士の共有を図る。
- 4) 外部研修、キャリイアップ研修、法人研修の意義目的を理解して参加し、自分の役割を学び、 質の向上につなげる。職員自身が保育が楽しいと言える環境作りをする。
- 5)休憩場所の確保、ノンコンタクト等を誰もがとりやすい環境作りを考える。

#### 3. 安全安心の園づくり

- 1)子どもの発達あそび等から職員と話し合いから、園庭のあそびかたを検討し、のびのび遊べる環境を整える。
- 2) ヒヤリリスク会議から安全確認と事故防止に努める、また修繕修理に中期的計画を考える。
- 3) 親子ふれ合い会、保護者個人面談、保育参加会等、子育て家庭への相談、保護者支援に努め、 保護者に園の良さを感じてもらい、アピールして発信につなげる。

### 4. 地域交流活動に取り組み地域全体でよりよい子育て環境居場所づくりに努める

- 1)子育て支援ぴよぴよクラブの実施や保護者を含む育児相談を行う。
- 2) 地域交流(地域の祭り参加、自治会、老人ホームとの交流など)と子育て家庭の居場所作り (園庭開放、離乳食教室、おひさま広場・こども食堂、多胎児のおしゃべり会等)を行い、 地域にむけてたくさん見学に来てもらえるように園の発信をしていく。

#### 【定員及び令和7年4月園児数】

	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計
利用定員2/3号認定	1 2	1 4	1 8	2 5	2 5	2 6	1 2 0
< 1 号認定>				< 2 >	< 2 >	< 2 >	< 6 >
		1 7	2 3	2 5	2 4	2 7	1 1 6
進級児					< 2 >	< 2 >	< 4 >
新入園児2/3号認定	3	7	2	2			1 4
< 1 号認定>				< 2 >			< 2 >
園児計 2/3号認定	3	2 4	2 5	2 7	2 4	2 7	1 3 0
4月 <1号認定>				< 2 >	< 2 >	< 2 >	< 6 >

#### 【職員数・令和7年4月】

	園長	主幹	保育教諭		保育	栄養士	調理師	事務員		学童	
		保育教諭		保育士	補助		調理補助		用務		合計
正規	1	2	1 6			1	2	1		1	2 4
(産育休)			(1)								(1)
非常勤			2				1			1	4
パート			6	1	2				1	4	1 4
合計	1	2	24 (1)	1	2	1	3	1	1	6	42(1)